

JUN通信

高木 純の市政だより



吉野川市議 高木 純

市の学校給食



市の学校給食は週に三回の米飯給食を実施しており、全国的には週三回が52%で、週四回22%で、週五回は4%という国の調査結果があります。

コメの需要が減少するなか子供にもつご飯を食べさせたいと考えていますが、パンが好きな子供もいて、特に揚げパンは大人気です。

下の写真は十二月十七日の学校給食です。メニューは、ごはん、とり肉の竜田揚げ、野菜サラダ、みそするひじき、佃煮牛乳。全部で710kcalです。



新米価格が記録的な安値



もう限界、やめていけない

米価の暴落がお米を作っている農家に大打撃になっています。

J A麻植郡における米の買い取り価格は、コシヒカリ（1等）30kgあたり2012年は7640円、2013年産は6000円、2014年産は4400円で昨年より1600円も下がっています。（2等米は2012年産が7340円、2013年産が5700円、2014年産は4100円）

暴落しているのはコシヒカリだけでなく、全国的に多くの銘柄が過去最低価格を更新し、前例のない安値になっています。

暴落の主たる原因は、中小の米卸売業者が、豊作で在庫として抱えていた25年産米を銘柄に関係なく精米代込みで1kg180〜190円と

現在、市内の下水道料金は川島・山川が鴨島町より高く設定されていますが、十二月議会の高木純の一般質問に対し市は、「市内統一料金が可能な限り早期に適用できるよう努める」と答弁しました。

市内の下水道料金は、一般污水で基本料金が鴨島町は864円ですが、山川町と川島町は1080円です。また、汚水の量の超過料金は10mを超える1mにつき、鴨島町は108円なのに山川町と川島町は162円になっています。この料金の違いを平均的な4人家族でつかう汚水量で計算すると、一ヶ月で鴨島町は3240円なのに山川と川島町は4640円で1400円の差があります。【料金は全て税込み】

市は、下水道の事業の違い（鴨島は公共下水道、川島・山川は農業集落排水と特定環境保全公共下水道）

川島・山川は、鴨島より高かったけれど 下水道料金が統一されます

などを理由に「妥当」と説明していましたが、市民からしてみれば全部同じ下水道です。

「市内の下水道料金を同じ金額にするべきだ」との高木純の一般質問での要求に、

『地方公営企業法』を下水道事業にも適用すべきと国の方針が示されており、適用にはおおむね3年から4年を要するとされていますが、迅速に行い、市内統一料金が可能な限り早期に適用できますよう努めたい。この場合、標準的な世帯の家計に過重な負担とならないことや、高齢者世帯の負担を可能な限り抑制することを念頭に新たな料金体系をシミュレーションし作業を進める」と答弁しました。

川島・山川が割高になっている下水道料金が『統一』に向かつて進むことになりました。



いう超低価格で外食産業に投売りしたのが、米価暴落のきっかけだったと言われています。

米の需要量は国全体で年間778万トですが農林水産省の生産目標は751万トです。しかし、2015年6月末の民間在庫量予測は230万トで、米の需要量も毎年8万ト程度減っていることから、現在も過剰に米が余っている状態なので価格下落の要因は引き続き残っています。

吉野川市でも、米作り農家は年々減少していますが、米価の大暴落が原因で耕作放棄地が増えるかもしれません。国・自治体あげての対策が急がれます。